



## 総社小学校の改築準備始まる

### 総社小学校の改築準備工事

昭和40年に建てられ、約1万人が巣立った総社小学校の現校舎。老朽化のため、現在の校庭部分への校舎改築が行われます。7月から開始された準備工事では、改築中に仮運動場として利用する中庭と正門横の整備を実施。校庭の埋蔵文化財（遺跡）発掘調査が終了したのち、新校舎の建設が始まります。

平成31年を予定している新校舎の完成後に現在の校舎は取り壊され、跡地が運動場として整備されます。全ての工事が完了するのは平成32年を予定。東京オリンピックの翌年から子どもを見守ってきた校舎は、2度目の東京開催の年をもって次代にバトンタッチすることになります。

仮運動場整備のための工事が始まった中庭（写真上）。南西から望む総社小学校校舎（写真左）



約1000人の参加者による総おどり



約2500発が打ち上げられた、フィナーレの花火



キラのあるダンスで魅せる



備中温羅太鼓の演奏

## ミニフォト

### 子どもと災害時の食事作り



ポリ袋を使い、節水調理を体験

「子育て王国そうじゃ」まちづくり実行委員会による防災クッキングが8月5日、市保健センターで開催され、小学生24人が参加。紙で皿を作ったり、ポリ袋を活用したりと、災害時の食事作りの工夫について学んでいました。

### 自然の中で体験活動



流れるそとめんを夢中ですくう

高間やまびこまつりが7月16日、高間キャンプ場で開催され、親子連れら約200人が参加。パンやアユ焼き、草木染めなどで夏の思い出をつくっていました。参加者が体験を描いた絵日記は、10月10日(火)まで美袋駅で展示。

### 力強く泳ぎきる



懸命に泳ぎ、練習の成果を發揮

市スポーツセンタープールで7月26日、学童水泳記録会が開催されました。記録会には、市内の全小学校から標準記録に達した329人の児童が参加。自由形や平泳ぎ、リレーの各種目で、練習の成果を發揮していました。



浴衣姿の来場者が行き交う



ステージで傘踊りを披露



ええとこ囃し踊りコンテスト

## そうじゃの夏の思い出

### 総社市民まつり“雪舟フェスタ”

総社市民まつり“雪舟フェスタ”が8月5日に高梁川河川敷で開催されました。43回目を迎えた今回は約4万5千人が来場。会場は、家族連れや友人らでにぎわっていました。



### 歴史を伝える新本のまつり



義民をしのびオペレッタを執演

江戸時代に命をかけて村人の暮らしを守った義民4人をしのぶ義民祭が、7月22日に新本小学校で行われました。神事や児童によるオペレッタの披露、義民踊りに約500人の住民らが参加。来年は300年祭が行われます。

### マダガスカルでの活動を報告



体験を語る藤岡さん

青年海外協力隊の一員として、2年間マダガスカル共和国で職業訓練のサポートにあたった藤岡宏美さん（秦）が帰国し、8月1日に市役所で活動を報告。現地での洋裁や料理などに関する指導について紹介していました。

### 目指せ藤井聡太四段



真剣に打つ手を考える

小学生将棋・オセロ大会が8月1日、清音公民館で開催され、将棋には16人、オセロには20人がエントリーしました。参加者は真剣な表情で盤面を見つめ、相手の打つ手に集中。効果的な次の一手を考えていました。

### 郷土の偉人に学ぶ



思い思いに景色や人物を描く

雪舟体験学習が8月4日、井山宝福寺で開催されました。市内の小学生32人が参加し、雪舟さんについての講話や座禅、抹茶の作法、水墨画などを体験。水墨画の体験では、雪舟さんになりきって筆を運んでいました。

## 第6弾



「そうじゃ小学校ライスカレー」の第6弾、池田小学校版が7月18日にお披露目されました。マイタケやヒラタケなどのキノコ類をふんだんに使い、少しスパイシーな仕上がりになっていることが特徴。パッケージにはキノコのほか、豪溪のモミジや体育・英語特区をイメージしたイラストがあしらわれています。

問い合わせ 農林課地食係 (☎@ 8273)